

# 断熱スライディングドア GDスライド ドアクローザ

## 施工説明書

このたびは弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。  
商品の組み立ておよび取り付けには、この説明書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。  
部品箱に同梱されている取扱説明書は、必ず施主様へお渡しください。

### 組み立て・取付上の注意事項

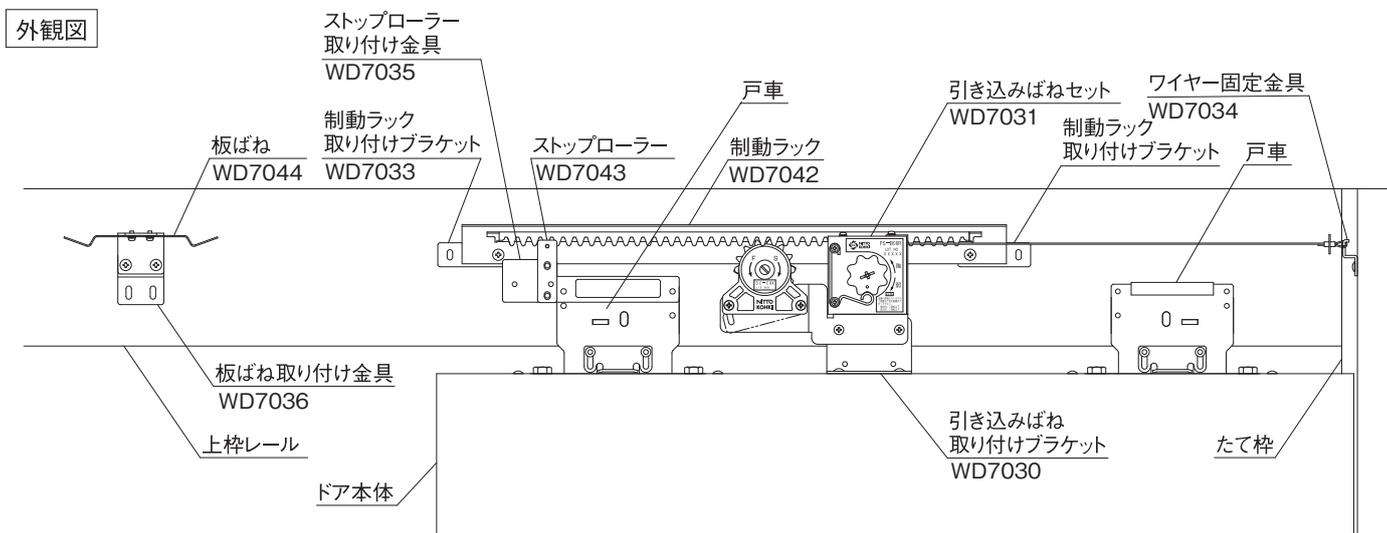
- ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたって必ずお守りください。
- ①スライディングドア以外への転用および改造は行なわないでください。
- ②指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ③ねじ止め箇所は、指定してあるねじを全て確実に止めてください。
- ④ドア本体は重いもので約50kgあります。建て込みの際には二人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- ⑤組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉作動や施解錠が正常に行なうことができること  
および使用上の不具合がないか確認してください。
- ⑥施錠した状態で枠とドア間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。  
不具合がある場合は確実に建て付け調整を実施してください。
- ⑦引き渡し前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

### 梱包内容

- 開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容にもご注意ください)。
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

| 区分     | 名称                 | 数量     |           |
|--------|--------------------|--------|-----------|
| 部<br>品 | 引き込みばねセット          | WD7031 | 1セット(R/L) |
|        | ブラケット(引き込みばね取り付け用) | WD7030 | 1個        |
|        | 制動ラックセット           | WD7042 | 1個        |
|        | ブラケット(制動ラック取り付け用)  | WD7033 | 2個        |
|        | ワイヤー固定金具           | WD7034 | 1個        |
|        | ストップローラー           | WD7043 | 1個        |
|        | ストップローラー取り付け金具     | WD7035 | 1個        |
|        | 板ばね                | WD7044 | 1個        |
|        | 板ばね取り付け金具          | WD7036 | 1個        |
|        | 小ねじトラス4×6×8        |        | 16本       |
|        | 小ねじトラス4×12×8       |        | 2本        |

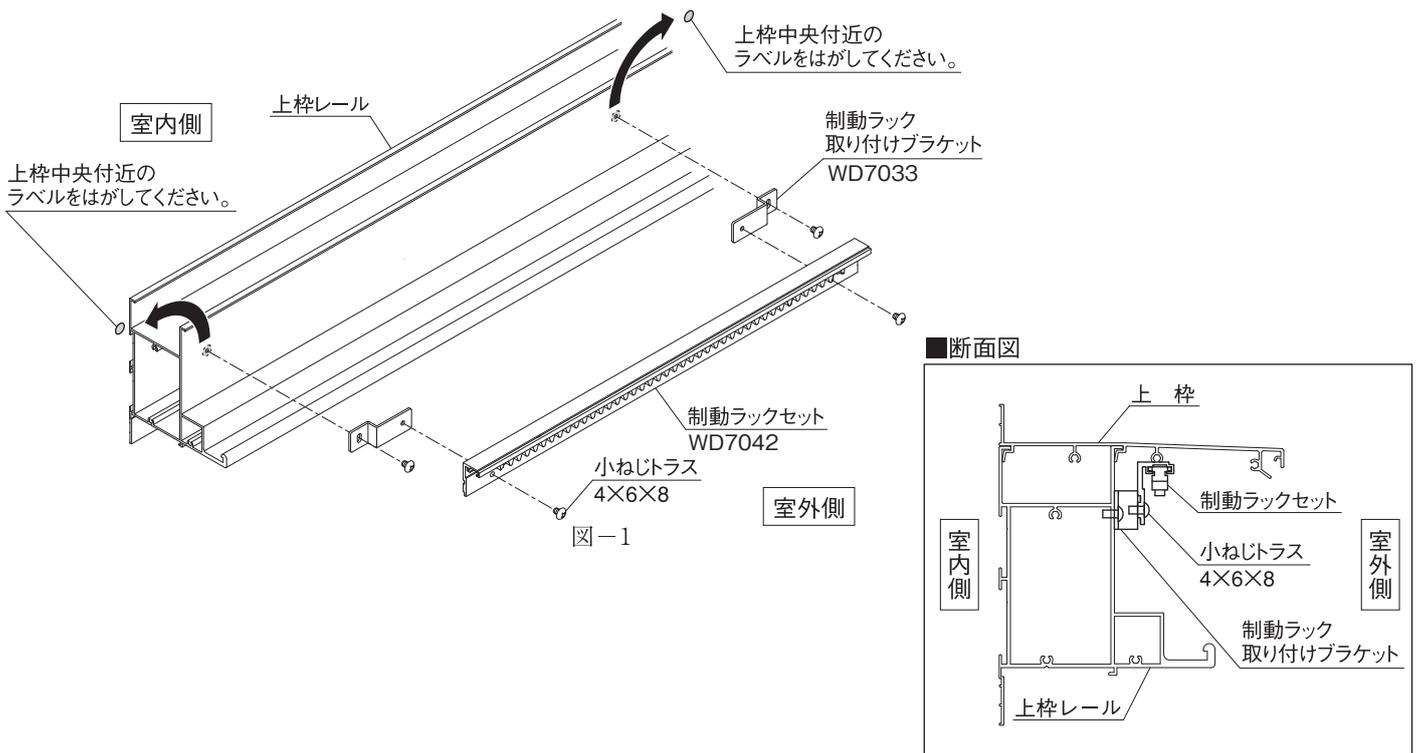
### 取り付け全体図



※本図は右勝手を例として記載しています。

## 1 制動ラックセットの取付

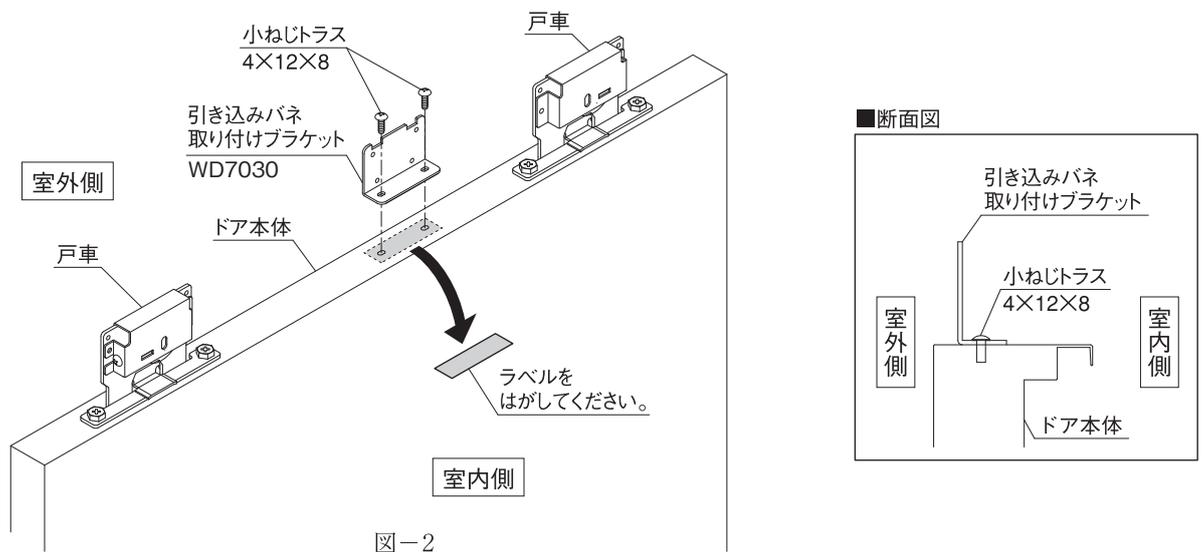
- 図-1のように、制動ラック取り付けブラケットを小ねじトラス4×6×8で制動ラックセットの両端に取り付けてください。その後、制動ラックセットを小ねじトラス4×6×8で上枠レールの取り付け穴位置に合わせて、取り付けてください。



※本図は右勝手を例として記載しています。

## 2 引き込みばね取付ブラケットの取付

- 図-2のように、引き込みばね取り付けブラケットを小ねじトラス4×12×8で、ドア本体の取り付け穴に合わせて取り付けてください。



※本図は右勝手を例として記載しています。

## 3 ドア本体の吊り込み

## 4 戸車の調整

## 5 はずれ止めの調整

※ 3 4 5 の説明につきましては本体施工説明書 HW1363を参照してください。

## 6 引き込みばねセットの取付

### ①引き込みばねセットの取り付け

- 図-3のように、引き込みばねセットを小ねじトラス4×6×8で引き込みばね取り付けブラケットに取り付けてください。

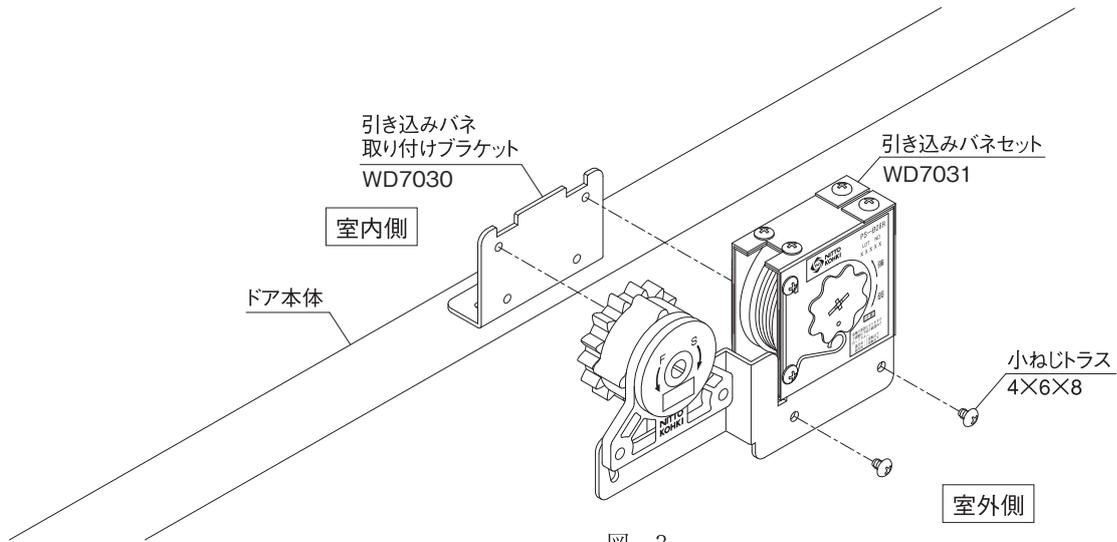


図-3

※本図は右勝手を例として記載しています。

### ②制動装置の調整

- 制動装置と制動ラックが噛み合わない場合は、図-4の制動装置の取り付けねじをゆるめて、調整してください。調整後は必ずねじを締め付けてください。

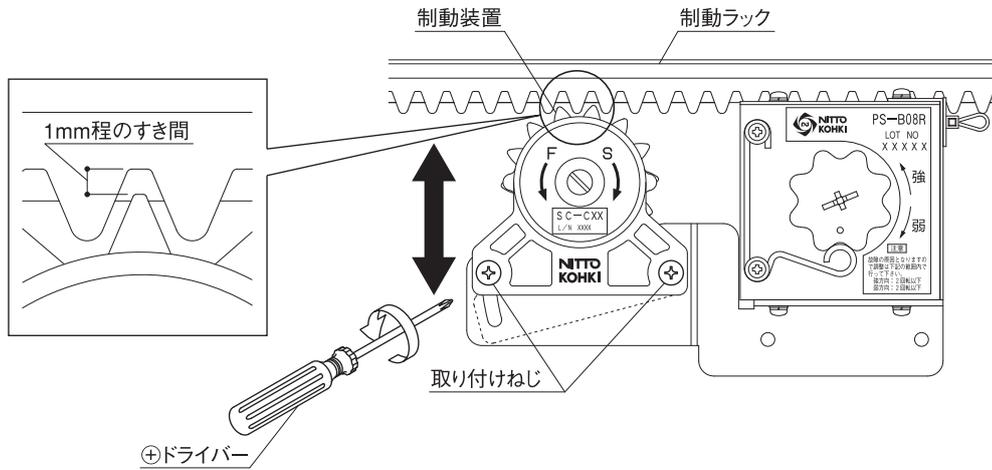


図-4

### ③ワイヤーのセット

- 図-5のようにワイヤー固定金具を小ねじトラス4×6×8でたて枠の取り付け穴位置に合わせて、取り付けてください。その後、引き込みばねのワイヤーを引き出し、ワイヤー固定金具に引っかけてください。

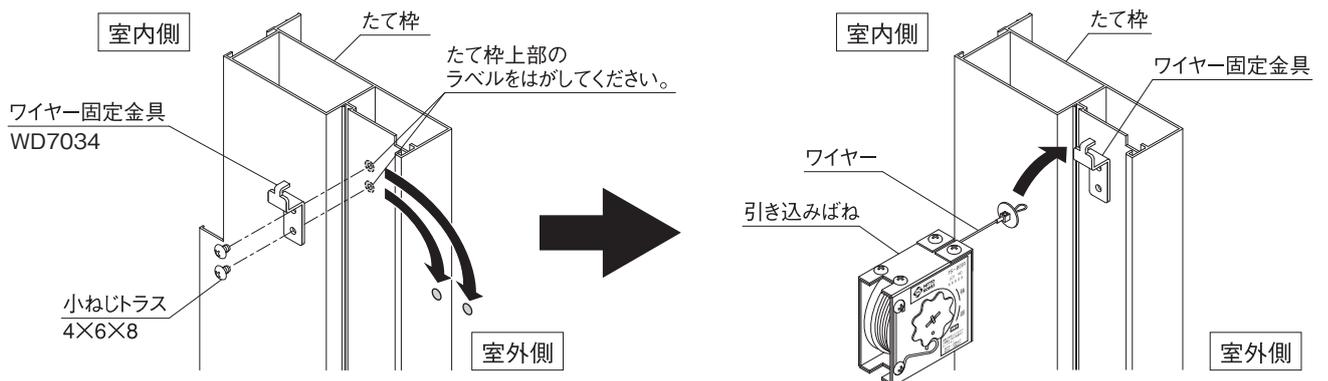


図-5

## 7 全開ストップ装置の取付

### ①ストップローラー、板ばねの取り付け

- 図-6のようにストップローラー取り付け金具を小ねじトラス4×6×8で戸尻側戸車に取り付け、ストップローラーを取り付けてください。
- 図-7のように板ばねを小ねじトラス4×6×8で板ばね取り付け金具に取り付け、上枠レールに取り付けてください。

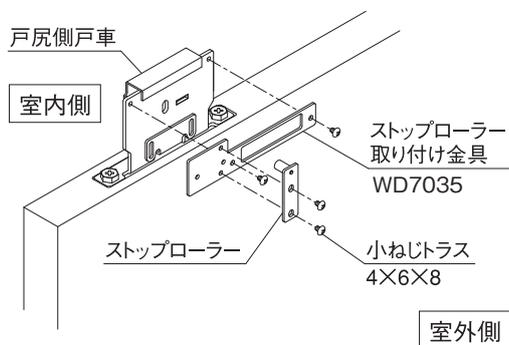


図-6

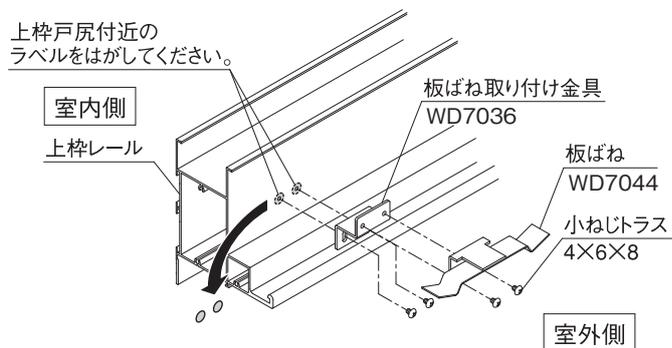


図-7

### ②ストップ力の調整

- 図-8のように板ばね位置を上下させて、ストップ力を調整してください。

- ストップ力を強くしたい時 ➡ 板ばね位置を下げてください。
- ストップ力を弱くしたい時 ➡ 板ばね位置を上げてください。

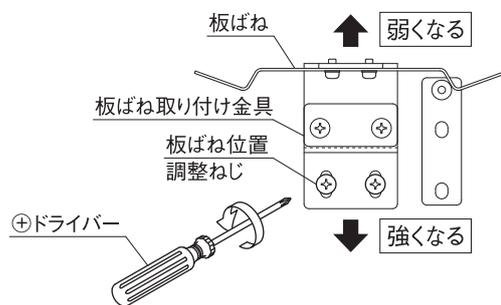


図-8

## 8 閉じ力・閉じ速度の調整

### ①閉じ速度の調整

- 図-9のように制動装置の调速ねじを⊖ドライバーでまわして、閉じ速度の調整を行なってください。  
(出荷時は1番早い状態に設定してあります。)

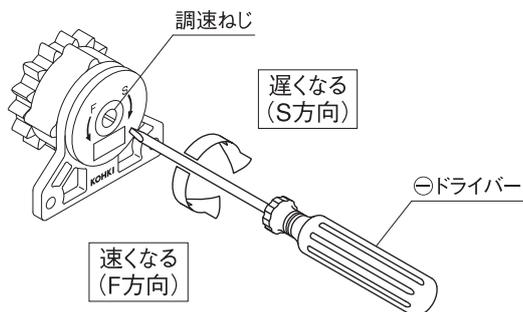


図-9

- 调速ねじは軽い力でまわし、最後までまわし切った後は、無理にまわさないでください。  
故障の原因となり、ドアの開閉ができなくなるおそれがあります。
- 周囲温度の変化により、多少閉じ速度が変化します。温度が高いと速くなり、低いと遅くなります。

### ②閉じ力の調整

- 閉じ力の調整が必要な場合は、図-10のようにギヤシャフトを⊖ドライバーでまわして、調整を行なってください。

本体ラベル

- 強方向 → 閉じ力が強くなります。
- 弱方向 → 閉じ力が弱くなります。

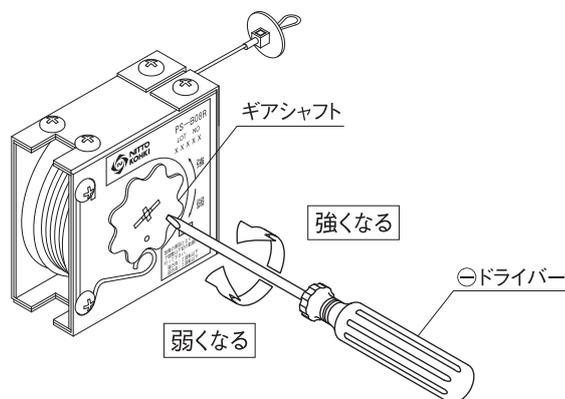


図-10

ギヤシャフトの巻き込みは2回転以上まわさないでください。故障の原因となりドアの開閉ができなくなるおそれがあります。

※閉じ力の調整を行った場合は、下表に記入し、本施工説明書をお施主様へお渡しください。

故障の原因となりますので調整は下記の範囲内で行なってください。

- 強方向 ➡ 2回転以下
- 弱方向 ➡ 2回転以下

■クローザ閉じ力調整記録

|   | 日付         | 調整実施者       | 調整内容   |                  |  |
|---|------------|-------------|--|------------------|--|
|   |            |             | 方向   | 累積回転数            | 目印位置   |
| 例 | 2009.02.27 | 新日軽<br>山田太郎 |   | $\frac{1}{4}$ 回転 |   |
| ① |            |             |   | 回転               |   |
| ② |            |             |   | 回転               |   |
| ③ |            |             |   | 回転               |   |
| ④ |            |             |  | 回転               |  |



